

平成28年5月17日

学校教育計画 (平成28年度～平成31年度)

学校名	神奈川県立永谷高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制課程普通科
-----	-------------	------------------	----------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に 대응するため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、未来を拓く力と自主自律の気概をもつ人材の育成をめざし、規律ある高校生活の確立と主体性の育成、社会性を育むキャリア教育・シチズンシップ教育の推進に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ態度を養うことをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

また、平成28、29、30年度の3年間「確かな学力育成推進校」として研究開発に取り組む、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及する。

2 学校教育目標

【教育目標】 知性の高い、情操豊かな、心身共に健康な、そして未来を拓く力と、自主自律の気概をもつ人間の育成を図る。

- (1) 知識基盤社会、グローバル社会、情報化社会といわれる現代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。
- (2) 学習規律及び生活規律を確立させ、落ち着いた学習環境の中で「基礎・基本」の定着を図り「確かな学力」を育成する。
- (3) 自主自律の精神を涵養するとともに、キャリア教育・シチズンシップ教育を充実させ、社会性を育む。
- (4) 地域との協働を推進し、ボランティア活動等を充実させ生徒の自己肯定感を高める。
- (5) 教職員一人ひとりが積極的に課題改善に努め「生徒が行きたい学校」「地域・保護者に信頼される学校」づくりを進める。

3 計画作成時点での課題

- 平成26年度より生活指導を強化し授業規律の徹底を図ってきた結果、生徒の授業への取り組み状況は改善されつつある。一方、平成27年度の転退学者は50名を超え、学習面や生活面におけるきめ細かな支援が課題である。
- 学習面においては、国語・数学・英語の授業を中心に「学び直し」を取り入れているが、家庭学習の時間が少なく学習意欲も低い学習内容が定着しない。「基礎・基本」の習得に向けた様々な工夫が必要である。
- 生活面においては、教育相談に裏付けられたきめ細かな生活指導や問題行動の早期発見・早期対応のための段階的指導等「温かくかつ厳しい指導」を推進している。生徒の問題行動も多く、教職員が日々生徒指導に追われる現状で、全職員の一致した指導が必要である。
- 自己肯定感が低く、勉強や部活動に意欲的に取り組む生徒は少ない。部活動加入率は3割弱である。部活動の活性化が課題である。
- 地域の清掃活動やイベントなどに生徒やPTAが参加するなど地域との交流は盛んである。一方で、生徒の行動に関する苦情も多く、生徒指導上の課題が大きい。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた多様で柔軟な教育課程編成及び確かな学力の育成を図るため組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②基礎・基本の定着に向けて学び直しや少人数授業を積極的に取り入れるとともに、様々な学習支援の方法について研究を進め、生徒一人ひとりに向き合う教育実践に取り組む。</p> <p>③学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な活動を促進する。</p>	<p>①基礎・基本の定着を目指す学校設定科目や10分間を単位とした1単位時間の運用等を踏まえた教育課程を研究する。</p> <p>①組織的な授業改善の一環として、定期テストの共通化を進める。</p> <p>②学び直しや少人数授業、アクティブ・ラーニングに係る教員研修会の実施及び内容の充実を図る。</p> <p>②生徒の学習意欲の向上を図る視点から、教務内規を検討し改善する。</p> <p>③知・徳・体のバランスの取れた教育実践という視点から、学校行事全般について検討する。</p>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①生徒理解に基づく「温かくかつ厳しい毅然とした生活支援」を目指し、教育相談等個に応じた支援体制の充実を図る。</p> <p>②部活動の活性化をとおして、自主自律の精神や責任感、連帯感を涵養する。</p>	<p>①全職員の相互理解の下、協力して一致した生徒指導に取り組む。(授業規律・服装・頭髪指導等)</p> <p>①特別支援学校との協力体制及びスクールカウンセラーの有効活用を推進し、支援教育についての理解を深め、生徒一人ひとりのニーズを把握、共有化し支援する。</p> <p>②年に複数回、部活動加入キャンペーンを実施し部活動加入を勧める。</p>
3	進路指導・支援	<p>生徒一人ひとりが自らのキャリア発達を意識し、「将来の生活の充実」「自分らしい生き方」を実現するために必要な能力や態度の育成を目指し、進路指導の充実を図る。</p>	<p>○教育活動全体において、キャリア教育やシチズンシップ教育の視点を踏まえた体験活動を充実させる。</p> <p>○インターンシップを充実させる。</p> <p>○基礎力診断テストの結果分析等により三者面談の充実を図る。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。</p> <p>②ボランティア活動を充実させ、社会性や思いやりの心を育み自己肯定感を高める。</p>	<p>①②地域の清掃活動等ボランティア活動への参加を積極的に勧めるとともに、ボランティア活動による単位認定について検討する。</p> <p>①②地域と連携した防災訓練等を企画・推進する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>「生徒が行きたい学校」「保護者に信頼される学校」を目指し、教職員一人ひとりが積極的に課題改善に取り組み「教職員が生き生きとしている学校」づくりを進める。</p>	<p>○清掃や整理整頓など環境美化に努める。</p> <p>○きめ細かく保護者に連絡する。</p> <p>○教職員が相互理解及び情報共有化に努め、前向きに協力して働く雰囲気をつくる。</p> <p>○グループが主体となった事故防止会議を年10回以上開催する。</p>